

特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ

第 1 回通常総会

平成 22 年 5 月 30 日(日)15:00~16:30

会場:前野屋旅館

CONTENTS

- ◆平成 21 年度事業報告 平成 21 年 8 月 27 日~平成 22 年 3 月 31 日
- ◆平成 21 年度決算報告
- ◆平成 22 年度事業計画(案) 平成 22 年 4 月 1 日~平成 23 年 3 月 31 日
- ◆平成 22 年度予算(案)
- ◆定款の一部変更(加筆案)について
- ◆役員一覧(案) 役員改選について
- ◇平成 21 年度活動資料など

特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ

平成 21 年度(2009 年度)

特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ

事業報告書



■法人設立から年度末までのまとめ

いいざかサポーターズクラブ理事長 藤原 純

1. 事業年度を通した総括評

当法人は、平成21年5月21日に設立総会を開催し県に申請し同年8月18日に認証され、8月27日に法人登記を行い、本格的な事業を開始いたしました。

また、県の補助事業である平成21年度「活力ある商店街支援事業」を活用し、まちづくり事業を主とした法人拠点となる空き店舗活用(温 cafe)や事務局の開設を行い、定款第3条の目的を果たすべく各事業を行なって参りました。

単にまちづくりと言っても全てに関連性があり、計画に列挙した、或いは新たに必要となった各事業が相互的に繋がっておりあります。

コミュニティの再生と交流人口の拡大のために当法人の役割は必要不可欠であり、地域の活性化のために寄与しようと努めて参りました。おかげさまで周囲の方々の理解も広がりつつあり、平成22年3月末現在で会員数(社員数)も43名となりました。

また、今年度下四半期には県の委託事業(県北方部アクティブツーリズム調査事業)の受託もでき、事務局体制の強化にも着手し始めています。まちづくりで重要なことは、「若者」「ばか者」「よそ者」とよく言われますが、まさに当法人の組織構成においてはそのように構成されており、来年度(平成22年度)は更なる会員(社員)の増加を目指して参ります。

現代社会的において、NPO法人が果たす役割は多岐にわたり今後も期待されることでしょう。当法人も社会的使命(ミッション)を果たすことで地域での知名度も上がりますが、同時に責任も生まれます。人・物・金とよくいわれますが、特に人(人づくり)に重点を置き自発的に行動することの出来る人材育成を行なって参りました。結果、物が動き、経済も動き出しました。

当法人名は「特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ」です。人と人とを繋ぎ、まちとまちを繋ぎ、サポート役としてこれからも躍進して参る所存です。

2. 設立当初立てた方針や各項目について

まず、web サイト「飯坂温泉ファンサイト」については、アクセス数も開設当初より増加して参りましたが管理費用の面やニーズに対応したコンテンツの制作が必要と判断し22年3月末にて休止状態となっております。今後につきましては、内容も含め検討中です。

次に、昨年度の県北方部アクティブツーリズム調査事業の際に訪問した桑折町とは、ホテルだけではなく西根堰や松尾芭蕉関連で協働事業を検討しようという話し合いがございました。今年度の事業にて桑折町一飯坂温泉間のウォーキングラリーの開催を目指します。

また、「温 cafe」を基点としたまち歩きツアーの実施につきましては、旧堀切邸の案内ボランティア講習会の参加があり実施を見送りましたが、まずは春夏秋冬年4回程度で会員向け(社員)に実施を目指します。

尚、旧堀切邸がオープンして周辺の通りの賑わいも少しずつ戻りつつあります。環境保全や賑わいの創出の観点から、キャンドルナイトの実施を検討しましたが、着手出来ませんでしたので今年度は、着手し幻想的な通り

(ストリート)の演出をアピールしたいと存じます。湯のまち飯坂ふくしまマラソン大会につきましては、運営スタッフとして協力して参りましたが、昨年以上に事務局の支援を行いたいと存じます。

〈定款 第3条〉

この法人は、飯坂地区の住民・個人事業者と飯坂温泉を訪れる多くの人々に感動を与えるため、市民・企業・行政等との情報の共有化を通し、歴史・文化・自然・景観・芸術・スポーツ等の保全や育成を図り、まちづくりに関わる情報の収集・提供、調査・研究、企画・運営、普及・啓発事業を行い、観光資源を後世に守り伝え、地域の特性を生かした観光とまちづくりによるコミュニティ空間の形成を行い地域活性化に寄与することを目的とする。

■運営に関する事項

1. 設立総会等の開催

☆平成 21 年 2 月 24 日「いいざかサポーターズクラブ準備会」を設立

- ・平成 21 年 5 月 12 日 NPO 法人設立総会(理事・監査 13 名を選出)／ほりえや旅館
- ・平成 21 年 5 月 20 日 住民に対する説明会法人設立説明会／パルセいいざか会議室
参加人数 約 50 名
- ・平成 21 年 7 月 3 日 市議会議員(飯坂選出議員 4 名)に対する当法人説明会
／飯坂学習センター 理事長、副理事長、事務局長

☆平成 21 年 8 月 27 日法人登記

2. 理事会の開催

- ・平成 21 年 8 月 25 日 理事会

※平成 21 年 9 月～11 月は、協力・参加事業が多々あったため、理事会開催は約 3 ヶ月開催出来ませんでした。(三役会や役員会は都度、必要に応じて開催し、協議した。)

- ・平成 21 年 12 月 4 日 理事会

主な議題:飯坂温泉観光協会と旅館組合に関する事案／助成金申請／映画完成披露試写会／忘年会開催／今後の活動(平成 22 年 5 月まで)

- ・平成 21 年 12 月 16 日 理事会

県北方部アクティブツーリズム事業・緊急雇用について(1)

- ・平成 22 年 1 月 16 日 理事会

県北方部アクティブツーリズム事業・緊急雇用について(2)

- ・平成 22 年 2 月 7 日 理事会

主な議題:県北方部アクティブツーリズム事業・緊急雇用について(3)(職員雇用を含む)／理事からの提案／フォーラム福島での映画上映会

- ・平成 22 年 2 月 18 日 理事会

※この他、法人認証中に 2 回理事会を開催しました。

(平成 21 年 7 月 6 日・7 月 16 日／温 cafe 参加人数 9 名)

3. 研修など

- ・平成 21 年 7 月 23 日 NPO 研究会「市民と議員の条例づくり交流会議」理事 2 名で参加

NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンター(福島市) 主催

- ・平成 21 年 9 月 10 日 パソコン講座「パワーポイントで広告ディスプレイ講座」理事 1 名が参加

リコピー東北福島(福島市卸町)主催

- ・平成 21 年 10 月 7 日 「うつくしま基金申請説明会」理事および社員が参加

(三菱 UFJ 銀行・東邦銀行・NPO 法人うつくしま NPO ネットワーク等が協力開催)

- ・平成 21 年 11 月 6 日 福島県緊急雇用創出基金事業(公募型雇用創出事業)説明会 理事 1 名が参加
- ・平成 21 年 11 月 11 日 耕作放棄地活用チャレンジセミナー 理事 2 名が参加
パルセいいざか/福島県・県耕作放棄地対策協議会主催
- ・平成 21 年 12 月 19 日
新“うつくしま、ふくしま”県民運動「子育てしやすい環境づくり」分野別ネットワーク構築事業
「クロージングディスカッション」 理事 1 名が参加
福島テルサ/ふくしま県民活動支援センター(NPO 法人うつくしま NPO ネットワーク)主催
- ・平成 22 年 1 月 25 日 温泉活性化講座「地域ぐるみの着地型観光って何」 理事 2 名が参加
パルセいいざか/飯坂温泉観光協会
- ・平成 22 年 1 月 30 日 NPO マネジメント講座第 3 回「NPO の会計」 理事および社員 2 名が参加
- ・平成 22 年 2 月 6 日 NPO マネジメント講座第 4 回「NPO の税務」 理事および社員 2 名が参加
いずれも、ウィズもとまち/主催は NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンター主催
- ・平成 22 年 2 月 9 日 「飯坂のお宝」案内ボランティア講座
公開講座「観光客へのおもてなし」 理事および監事 2 名が参加 パルセいいざか/福島市、地元団体共催

4. 職員・ボランティアの活動(人員の体制など)

・法人事務局

平成 21 年 8 月～平成 22 年 1 月・事務局長 1 名、理事・社員各 1 名が常駐体制

平成 22 年 2 月～3 月・事務局職員 1 名、調査員 2 名(緊急雇用)が増員

・温 cafe(おん かふえ)

平成 21 年 8 月～平成 22 年 3 月・パート 3 名、理事 1 名がローテーション体制

■会員に関する事項

1. 会員数について

平成 22 年 3 月末:正会員 31 名・準会員 12 名 計 43 名

※法人設立直前(平成 21 年 7 月初旬)正・準会員 34 名→12 月中旬には 40 名と緩やかに増えています

2. 会員へのサービスについて

①web サイト「飯坂温泉ファンサイト」や、ニュースレターでの情報発信

当法人運営や活動に関する報告やニュース、会員への連絡等は、都度その情報を掲載。

web サイトについては定期的な発信をしていますが、ニュースレターは不定期な発行のため、ネット環境を持たない会員へのサービス策を講じることが当面の課題になっています。

②「みんなのつどい」(会員交流会)の開催

・平成21年9月11日 19:00— / 温 cafe

新会員紹介、会員さんの PR、活動報告及び今後の活動について、cafe 新メニュー試食等

・平成 21 年 12 月 20 日 18:00— (クリスマス会と称して) / 温 cafe

プレゼント交換会、会員持ち寄り芸お披露目等

※法人認証中の平成 21 年 8 月 6 日、7 日、温 cafe の披露も兼ねて「ウエルカムパーティー」を開催。

③会員向け事業報告会:平成 22 年 3 月 25 日 / 飯坂支所・大会議室

平成 21 年度事業報告、平成 22 年度事業計画、質疑応答(意見交換)

出席者 19 名(事務局を含む。理事 4 名、職員 3 名)

④その他について 平成 21 年 9 月 13 日 堀切邸内覧会



■活動に関する事項（定款の条文順に従って報告しています）

- ◆飯坂町湯沢 26 番地に、法人活動拠点として事務局開設(平成 21 年 6 月 29 日)
並びに、情報受発信及び交流拠点「温 cafe」開設(平成 21 年 8 月 8 日)



◆「温 cafe」は“まちのお茶の間”をコンセプトに、地域の人たちと訪れたお客さまとの情報交流拠点であり、かつ当法人の個々の活動(事業)をつなぎ、円滑に促進させるための“背骨”のような存在として位置づけています。

この店舗は、平成 21 年度「活力ある商店街支援事業」(県商工労働部まちづくり課および地方振興局商工労働部地域づくり・商工労政課)の「空き店舗対策」による家賃賃借料の補助を受けています。

NPO 法人がこの補助事業を活用するのは初めての事例であり、今後の展開に対し県や市、地元組織なども注目しているようです。

1. まちづくりに関する総合案内所及び交流を促進する事業

① 「温 cafe」の開設

下記の 3 つの機能を持つ情報交流拠点を目指し、運営をしています。

- ・地産地消を強く意識したフードやドリンク等オリジナルメニューの開発や販売と同時に、地元、周辺地域の特産品を集めた商品(お土産品)の販売を行う「コミュニティカフェ」
- ・店舗や場所を含んだまち案内やガイドを常時行っている他、無線 LAN による情報検索や情報の送受信など総合的な「情報案内(場と機能)」
- ・飯坂の暮らしやまちづくりに関する勉強会や相談窓口であり、かつカフェの利用者(観光客や市民)や町民へ向けてのイベントなどを行う「コミュニティサロン」

② web サイト「飯坂ファンサイト iizakafan」の運営

ビューロー数の変化について

設立総会時点(平成 21 年 5 月末 23,800 件/月平均 22,000 件)や、昨年 1 年間(平成 21 年 1 月※～12 月までの合計 401,839 件/月平均 33,486 件)の数字と、今年初めから 3 月末(167,139 件/月平均 55,713 件)を比較すると倍以上の増加であり、明らかに情報発信の重要性を示しています。

今後は、定期的な情報更新やブログなどコンテンツの充実、他のサイトとのリンクなどの工夫が必要かと考えています。

③ 「飯坂のお宝」案内ボランティア講座(第 1 期)への理事及び会員の派遣

事務所の隣、堀切邸の改装オープン(平成 22 年 5 月 1 日)に伴い、クラブメンバーから 12 名が参加、受講。(平成 21 年 10 月 20 日～平成 22 年 2 月 9 日の 11 回講座)

その後、同講座スキルアップ研修会(平成 22 年 3 月～4 月、6 回講座)にも 5 名が参加しました。

④ NPO 法人団塊のノーブレス・オブリージュ(東京都新宿区)との交流

このNPO法人(以下、DNOと略)の理事さんの中に飯坂町出身者がおられ、そのDNOが手掛ける事
福島市とのつながりの中から、当法人との面識ができたものです。

・平成21年9月5日 DNOとのふるさと交流事業懇談会/遊乃里

・平成21年9月23日 早稲田地球感謝祭(主催:早稲田大学周辺商店連絡会)/

早稲田大学早稲田キャンパス 理事3名が参加

・平成21年11月7日～8日

着地型観光や二地域居住に関する事業準備の為にテストツアーへの協力など

⑤ 福島県緊急雇用創出基金事業(公募型雇用創出事業)への応募

及び「県北方部アクティブツーリズム調査事業」の実施

県内の厳しい雇用失業情勢に対し、地域や企業等の特性を生かしながら新たな雇用の創出を行う事業
提案(アイデア)を募集した初めての委託事業に応募し(平成21年10月27日～11月30日までの公募
期間)、平成22年1月に採択が決定。

実質約2ヶ月間の事業ではあったが、飯坂町を中心とした福島市、伊達市、伊達郡を含む県北方部各
地域の有形無形の観光資源、体験プログラムに取り組む組織等を調査する「県北方部アクティブツーリ
ズム調査事業」を行いました。事業規模は約130万で、調査員として2名のスタッフを新規雇用し、従来
の職員1名と共に取り組みました。

この事業は、今年度着手する「県北方部ふるさとづくりモデル地区創出事業」において展開する幾つか
の事業ー着地型観光のプログラムづくり、地域の資源を住民とともに発見したり活用するためのアイデア
づくり等に活かす基礎調査として、103件のデータを集めました。当初の目標は80件に対し、これを大き
く超える成果を上げました。

なお、この調査(地域の資源情報の受発信)は、今後も継続して行う予定です。

2. まちづくりに関する調査・研究・提言事業

ホテル観賞バスツアー(平成21年6月23日～7月5日/13日間実施)における飯坂温泉観光協会等
の地元組織に対し、ボランティアガイドとして協力。(5名参加)

同時に、広域連携を目指した桑折町観光協会との緊密な関係づくりを目指しました。

・参加旅館数 27軒

・参加者数 約280名(アンケートでの結果「参加の動機」:ネット、宿泊部屋の案内チラシが上位)

3. 地域活性化のためのイベント、お祭りの企画運営事業

① フィルムコミッション事業への試み

・短編映画「TOZNA 十綱ノ国」制作に伴う、ロケサービスやエキストラ協力(町内各所)

(撮影日:平成21年8月22～23日)

・完成試写会の開催

プレ試写会・平成 21 年 11 月 5 日／温 cafe(映画製作者およびクラブ関係者)

飯坂町上映会・平成 22 年 1 月 24 日／いいざかパルセ(14 時、19 時の 2 回)

上映会(監督・主演女優とのトークショー)・平成 22 年 2 月 20 日／福島フォーラム

フォーラムでの上映会は、「ふくしま元気市民活動助成金」にて財源を確保しました。この助成金は昨年(平成 21 年)NPO 法人ふくしま NPO ネットワークセンターが創設したもので、第 1 回に応募。第 1 次審査を通過し、平成 21 年 12 月 13 日に開かれた公開プレゼンテーション(ふくしま市民活動フェスティバル 2009 の中で開催)において採択されました。

② 平成 21 年 10 月 22 日 「十六沼スケートボードパーク・千秋楽」

十六沼公園スケートボードパーク(福島市大笹生字俎板山)への出店参加。理事および社員 3 名。

③ 平成 21 年 10 月 24 日～25 日 第 3 回「湯のまち飯坂・ふくしまマラソン」(前日祭・当日)

主催:湯のまち飯坂・ふくしまマラソン実行委員会。

当法人は、大会前日に行われた「有森裕子講演会」のサポートや大会準備。大会当日は本部サポート及びマラソン給水所の管理・運営を担いました。

4. 景観づくりの生活環境の活動支援事業

「温 cafe」づくりにあたっては、この事業の基盤となれるよう、「和風を基調に」周辺の景観を壊さないような改装及び敷地内の整備を行いました。(旧堀切邸「下蔵」の景観に配慮し、旧 153 の看板撤去など)

5. 地域の特産品を開発・宣伝し地域の活性化を図る事業

「温 cafe」においては、当法人会員さん方が手掛ける商品のワンボックス展示・販売や、県北地方や福島、飯坂町の特産品や地元の商品などを常に取り揃え、来店する方々へのアピールを図っています。

さらに、店内には飯坂を中心としたさまざまなパンフレットや観光、イベントなどの案内資料も掲示し情報発信をしています。(常時、30 件程度の広報ツールを掲示)

6. 交流を育むコミュニティレストラン(カフェ)の事業

まさに「温 cafe」運営そのものがこの事業に該当します。

平成 21 年 8 月のオープン以来月平均 30 万円の売り上げを維持しており、利益計上とはいかないものの、賃借料と cafe スタッフ人件費を賄っています。詳細は、決算書をご参照ください。

また、飲食メニューに用いる食材やレシピに関しては、地産地消とスローフードにこだわりながら、常に話題提供や情報発信を意識しています。

7. 目的をみたすためのその他の事業

今年度は実質7か月の活動(法人認証が8月)でしたが、下記のような活動にも取り組みました。(法人設立時の事業計画以外の事業です。)

- ・平成21年10月5日 「ごみを拾えばまちが綺麗になる」飯坂けんか祭・翌日清掃活動
- ・平成21年10月7日 茂庭ダム湖周辺の草刈り(湯のまち飯坂・ふくしまマラソン関連)
- ・平成21年12月11日 当法人および飯坂温泉観光協会及び旅館組合との三者合同会議
- ・平成22年2月16日

NPO 法人団塊のノーブレス・オブリージュとNPO 法人茂庭っ湖の郷、当法人による三者会議

／飯坂学習センター第2研修室

当法人とDNOとの共催で、着地型観光及びふるさと交流事業及びCO2ダムに関する第1回目の会議(正式)



〈定款 第5条〉 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

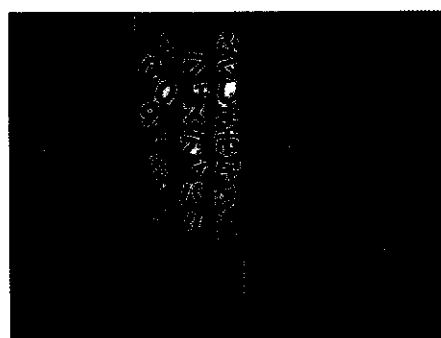
- ①まちづくりに関する、情報発信・収集・企画・運営・コンシェルジュによる総合案内所の運営及び交流を促進させる事業
- ②まちづくりに関する、講演会・講習会・調査・研究・提言事業
- ③地域の歴史、伝統、文化、芸能、芸術、スポーツ等、及び地域の名物の保存、育成を図り地域活性化のためのイベント、お祭りの企画運営事業
- ④和風を基調とする景観づくりの生活環境の活動支援事業
- ⑤地域の特産品の普及拡大を図る為に、地域の生産者等との事業連携を図り、地域の特産品を開発・宣伝し地域の活性化を図る事業
- ⑥地元住民と観光客の交流を育むコミュニティ空間の形式及びコミュニティレストラン(カフェ)の事業
- ⑦その他 第3条の目的をみたすために必要な事業

平成 21 年度(2009 年度)

特定非営利活動法人いざかサポーターズクラブ

収支報告書

平成 21 年度収支計算書・財産目録・貸借対照表



平成21年度特定非営利活動事業 収支計算書

平成21年5月1日～平成22年3月31日
 特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ

(単位：円)

科 目	21年度予算額	21年度決算額	備 考
(資金収支の部)			
I. 経常収入の部			
1. 寄付金収入	0	102,810	㈱アポロガス 50,000 高橋真氏 5,000 奥野商事様 6,172 篤志寄付(飯坂町民) 20,000 緊急雇用会計口座元入分1,000
2. 会費収入	1,150,000	370,000	サポーターズクラブ準備会から引継ぎ 20,638 正会員 10,000×31名 準会員 5,000×12名
3. 助成金・補助金収入	350,000	1,817,202	県緊急雇用創出基金事業補助金 1,312,202 空き店舗対策事業助成金 405,000 「TOZNA」上映事業助成金 100,000
4. 温カフェ 事業収入	3,500,000	2,622,689	カフェ売上
5. その他の事業収入	540,000	288,025	ふるさと交流事業参加料収入 120,000 「TOZNA」上映会チケット代金収入 128,025 湯のまちマラソン業務委託料収入 40,000
6. 委託料収入		54,122	温カフェ 特産品販売受託収入
7. 雑収入	100,000	26,515	
経常収入合計	5,640,000	5,281,363	
II. 経常支出の部			
1. 事業費	3,870,000		
県北方部アクティブ ツーリズム調査事業費		1,312,202	
賃金		994,000	(内訳) 3名分給与(2ヶ月分)
法定福利費		91,360	社会保険料 83,675 労働保険料 7,256 児童手当拠出金 429
リース料		63,000	パソコンリース料
通信費		60,022	封筒印刷代 30,450 切手・ハガキ代 14,590 プロバイダー料 13,862 その他 1,120
備品消耗品費		38,005	デジタルカメラ購入費
事務所経費等		65,815	事務用品 20,945 調査車両費 18,863 掃除機他 12,419 灯油 7,504 電気料 5,578 その他 506
温カフェ事業費		3,227,335	
仕入原価		914,080	(内訳)
パート給与		841,375	4名分給与(延べ27ヶ月)
地代家賃		900,000	家賃 90,000×8ヶ月 権利金 180,000
水道光熱費		236,886	電気料 106,449 ガス代 55,207 水道料 35,138 他
備品消耗品費		157,300	厨房用品 55,444 店内備品 36,237 食器 30,030 看板制作費 18,800 その他 16,789
保険料		46,080	火災保険料 37,080 賠償共済保険料 9,000
事務用消耗品費		36,838	事務用品・厨房用品等
その他経費		94,776	
その他の事業費		201,185	ふるさと交流事業 109,280 TOZNA上映会諸経費 87,425 他
事業費合計	3,870,000	4,740,722	

科 目	21年度予算額	21年度決算額	備 考
2. 管理費			
広告宣伝費		15,500	新聞広告掲載料 イベント出店料
事務費		65,756	パソコン関係費用 32,530 印章代 30,300 その他 2,926
会議費		27,710	NPO設立説明会会場費 周知用チラシ折込料
旅費交通費		10,000	高速道路料金 燃料代
通信費	120,000	54,736	プロバイダー料 29,014 電話料 18,039 他 切手・郵送料等
備品消耗品費	160,000	107,516	パソコン購入 51,480 他 事務室 机・ラック等
事務用消耗品費	80,000	27,377	パソコン関係消耗品 事務用消耗品
水道光熱費	120,000	24,786	電気料 17,924 灯油代 他 6,862
地代家賃	700,000	190,000	家賃 170,000 権利金 20,000
火災保険料		4,120	
雑費		44,145	登記手数料 寄付金 等
管理費合計	1,180,000	571,646	
3. 予備費	590,000		
経常支出合計	5,640,000	5,312,368	
経常収支差額	0	-31,005	
(正味財産増減の部)			
Ⅲ. 正味財産減少の部			
当期収支差額		-31,005	

財 産 目 録

平成22年3月31日現在
 特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ

(単位：円)

科 目・摘 要	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現 金 一般会計	214,152	
現 金 緊急雇用事業会計	193,052	407,204
普通預金 東邦銀行 飯坂支店	10,003	
普通預金 福島信用金庫 飯坂支店	10,001	
普通預金 福島信用金庫 飯坂支店	6,585	
普通預金 東邦銀行 飯坂支店 (緊急雇用事業会計)	59,513	86,102
棚卸資産	227,003	227,003
流動資産合計		720,309
資 産 合 計		720,309
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金 3月分社会保険料	41,305	
2月・3月分源泉所得税	14,450	55,755
未払金 パソコンリース料	63,000	
3月分社会保険料 他	44,233	
3月分電気料	2,954	110,187
短期借入金 理事2名	499,749	499,749
補助金返還引当金	85,623	85,623
流動負債合計		751,314
負 債 合 計		751,314
正 味 財 産		-31,005

貸借対照表

平成22年3月31日現在

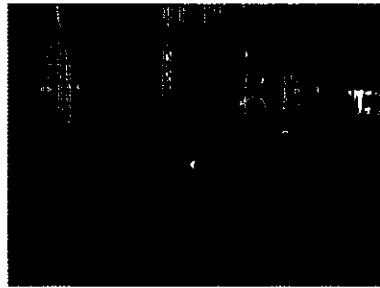
特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ

(単位：円)

借 方		金 額	貸 方		金 額
資産の部			負債の部		
1. 流動資産			1. 流動負債		
	現 金	407,204		預り金	55,755
	普通預金	86,102		未払金	110,187
	棚卸資産	227,003		短期借入金	499,749
				補助金返還 引当金	85,623
			負債合計		751,314
			正味財産の部		
				正味財産	-31,005
			正味財産合計		-31,005
資産合計		720,309	負債・正味財産合計		720,309

平成 22 年度(2010 年度)

特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ
事業計画書(案)



■運営に関する事項

1. 総会の開催(平成 22 年 5 月 30 日)
2. 理事会の開催(月 1 回定期的に開催する)
3. 研修会の開催
 - ・外部研修会への参加(理事及び会員、職員) ・内部研修会の開催(会員及び地域住民)
4. 理事の実務への参画(人数等増強策、事業部体制の導入)
5. 財源の確保(法人事務局、温 cafe の収支計画)

■会員に関する事項

1. ニュースレターの定期発行、クラブのメルマガ等、会員に向けた情報提供及び研修会の開催
2. 運営や活動に関する諸々の記録の徹底化
 - 理事会や事務局会議の開催記録や議事録、職員の研修参加、会員数の増減、各事業に関するマスコミ掲載など、あらゆる動きに関する情報の共有とストックを行うこと

■活動に関する事項

1. まちづくりに関する総合案内所及び交流を促進する事業
 - ・コミュニティカフェ「温 cafe」の管理・運営及び拡充
 - ・web サイト「飯坂温泉ファンサイト」のリニューアル
 - ・DNO を始めとした NPO 法人との交流
 - ・県緊急雇用創出事業「県北方部アクティブツーリズム創出事業」
 - ・カーボン・オフセット森林吸収(CO2 ダム)プロジェクト・スタートアップ事業
 - ・いいざか earth!アートカレッジ スタートアップ事業
2. まちづくりに関する調査・研究・提言事業
 - ・ホテルツアー等の近隣市町村や関連組織との連携事業
 - ・空き店舗や温泉街賑やか創出に関する提言(あるいは会議での発言)
3. 地域活性化のためのイベント、お祭りの企画運営事業
 - ・フィルムコミッション事業
 - ・地元組織と連携、協力すべき事業
4. 景観づくりの生活環境の活動支援事業
 - ・キャンドルナイト的なイベントの実施及び通り(ストリート)の賑わいを創出する事業

5. 地域の特産品を開発・宣伝し地域の活性化を図る事業

- ・平成 22 年度ふくしま協働のまちづくり事業への応募

「週末ワークショップ「いいざか再発見！ハイティーンと創る町の魅力」」で申請中(6月5日公開審査会)

- ・収益事業の可能性を検討

ふるさと産品のネット販売及び「温cafe」等での委託業務の拡充

6. 交流を育むコミュニティレストラン(カフェ)の事業

- ・「温 cafe」の活用促進策(繁盛策)

7. 目的を満たすためのその他の事業

特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ

定款の一部変更(加筆)(案)

第1章 総則

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を福島県福島市飯坂町字十綱町5番地に置く。

2 この法人は、前項のほか、その他の事務所を福島県福島市飯坂町字湯沢26番地に置く。

平成22年度(2010年度)

役員一覧(案)

◆理事

藤原純、大山弘明、小野寺一、川又康彦、町田敏弘、木戸康司、渡邊将、安齋忠幸、眞田規行、
佐藤耕平、堀切治之

◆監事

橋本圭介、浅野清史

平成22年度特定非営利活動事業 収支予算書(案)

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位：円)

科 目	22年度予算額	備 考
(資金収支の部)		
I. 経常収入の部		
1. 寄付金収入	100,000	
2. 会費収入	520,000	正会員 10,000×40名 準会員 5,000×12名 賛助会員20,000×3名
3. 助成金・補助金収入	13,423,944	県緊急雇用創出基金事業補助金 12,603,944
4. 賦課金収入	80,000	空き店舗対策事業助成金 420,000 ふくしま協働のまちづくり事業補助金 400,000 事業参加賦課金
5. 温カフェ 事業収入	5,040,000	カフェ売上
6. その他の事業収入	185,000	湯のまちマラソン業務受託収入 80,000 ふくしま協働のまちづくり事業収益金 90,000 ふくしま協働のまちづくり事業参加費 15,000
7. 委託料収入	120,000	温カフェ 特産品販売受託収入
8. 雑収入	10,000	
経常収入合計	19,478,944	
II. 経常支出の部		
1. 事業費		
県北方部アクティブ ツーリズム創出事業費	12,603,944	
(内訳)		
給与手当	7,380,000	4名分給与 7,200,000 3名分通勤手当 180,000
法定福利費	982,944	社会保険料等 @20,478×4名×12月
報償費	200,000	講師謝金 @20,000×10回
旅費	164,000	講師旅費 20,000 職員旅費 144,000
消耗品費	180,000	事務用品等 15,000×12月
水道光熱費	360,000	電気 水道 灯油 @30,000×12月
燃料費	120,000	職員所有車両ガソリン代実費弁償
印刷製本費	1,157,000	ガイドブック作成 670,000 Webサイト製作 250,000 チラシ作成 237,000
通信運搬費	84,000	プロバイダー回線使用料 @7,000×12月
使用料・賃借料	1,046,000	パソコンリース 780,000 会場使用料 146,000 他
委託料	880,000	モニターツアー経費 @22,000×20人×2回
保険料	50,000	スタッフ用イベント保険 @500×10人×10回
温カフェ事業費	4,866,000	
(内訳)		
仕入原価	1,680,000	
パート給与	1,560,000	パート4名分給与
地代家賃	1,080,000	店舗賃借料 90,000×12ヶ月
水道光熱費	356,000	電気料 160,000 ガス代 84,000 水道料 53,000 他 59,000
備品消耗品費	50,000	厨房用品 15,000 店内備品 15,000 食器 20,000
保険料	47,000	火災保険料 38,000 賠償共済保険料 9,000
事務用消耗品費	10,000	文具等事務用品
その他経費	83,000	電話料 衛生費 サービス費等
その他の事業費	600,000	ふくしま協働のまちづくり事業
事業費合計	18,069,944	

科 目	21年度決算額	備 考
2. 管理費		
租税公課	70,000	法人市県民税
広告宣伝費	20,000	新聞広告掲載料 イベント出店料等
会議費	90,000	総会 80,000 その他 10,000
旅費交通費	10,000	研修旅費等
通信費	30,000	切手・郵送料等
事務用消耗品費	10,000	文具等事務用品
水道光熱費	10,000	照明器具等
地代家賃	120,000	事務所賃借料 10,000×12月
事務費	1,000	
備品消耗品費	1,000	
保険料	5,000	
管理費合計	367,000	
経常支出合計	18,436,944	
当期経常収支差額	1,042,000	
3. 借入金		
借入金返済	499,749	
当期収支差額	542,251	
前期繰越収支差額	-31,005	
次期繰越収支差額	511,246	

平成 21 年度(2009 年度)

特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ

活動資料

サポーターズつく発足

観光客と住民の交流促進へ

飯坂温泉街を活性化



温泉街活性化へ事業計画などを確認した設立総会

観光客と住民の情報交換を通し、福島市の飯坂温泉街の活性化を図るNPO法人いざかサポーターズクラブが十二日、発足した。同市飯坂町で設立総会を開き、観光客と住民の情報交換拠点として、温泉街にコミュニティセンター（案内所）を設置することなどを決定、七月の設置を目指す。

同センターでは観光客への観光案内や観光施設案内ボランティアのあっせんを行う。観光客と住民がより気軽に交流できるよう、スローフードを取り入れたレストラン（カフェ）も展開していく。

同クラブは、独自の企画で商店街再生や温泉街活性化を図ろうと、同温泉街の若手経営者らを中心に発足。総会には十一人が出席し、理事長に藤原純さんを選任した。

成長が飯坂地区の発展につながるよう貢献していきたい」とあいさつした。

今後の活動としては、まちづくりに関する講演会や、住民、市民サークルなどと連携したイベントの開催、飯坂ブランドの特産品やグッズの開発、普及を図る。

同クラブは二十日午後七時から、同市飯坂町のパルセいざかで設立説明会を開く。問い合わせは藤原理事長（電話090・1934・1913）へ。

理事長以外の役員次の通り。

副理事長▽大山弘明、小野寺一、川又康彦▽理事▽町田敏弘、木戸康司、渡辺将、佐藤秀真、安斎忠幸、佐藤主倫、真田規行▽監事▽橋本圭介、浅野清史

説明会で活動紹介

いいざかサポーターズクラブ

観光客と住民の情報交換を通し、福島市の飯坂温泉街の活性化を図るNPO法人いいざかサポーターズクラブ（藤原純理事長）は二

十日、同市のパルセイイざかで設立説明会を開き、活動内容に理解を求めた。約四十人が参加。藤原理事長が設立の経緯や目的、活動内容などを紹介した。



活動内容に理解を求めた設立説明会

同クラブは、独自の企画で商店街再生や温泉街活性化を図ろうと、同温泉街の若手経営者を中心に十二日に発足。正会員、準会員、

と住民の情報交換拠点となるコミュニティセンター（案内所）の設置計画を説明、スローフードを取り入れたレストラン（カフェ）を展開、同時に観光客への観光案内、観光施設案内ボランティアのあっせんを行っていくとした。まちづくりに関する講演会の開催や、飯坂ブランドの特産品の開発、普及活動なども行い、主な財源にはカフェの運営、会費収入を充てるとした。

賛助会員を募っている。問い合わせは藤原理事長（電話090・19334・1913）へ。



味わい深い掛け軸を楽しむ来場者

著名画家の掛け軸一堂

中合で日本画軸装展

を並置を竹井、い訪お東現展

営業力セミナーで
ネット活用学ぶ

「育成セミナー」を開き、参加者たちがインターネット

映画「TOZNA」制作決定

春色のスープに出演 俳優の隈井さん(福島)監督

作品のモチーフとなった
十網橋



映画「TOZNA」について説明する隈井士門さん

県が制作した映画「春色のスープ」などに出演した俳優の隈井士門さん(福島市在住)が監督、脚本、主演する映画「TOZNA」が十網(とつな)の国々の制作が決定した。

ヒロインやキャスト募る

飯坂温泉街でロケ

同作品は、隈井さんが現在、地元有志らの協力を得て準備を進めておられる飯坂温泉街をロケ地とし、撮影開始は8月の予定。飯坂の顔である十網橋を全国に発信する第一弾の企画として、長編アニメーション作品と位置づけられている。同映画のPRで福島民友新聞社を訪れた隈井さんは「古き

十網橋の伝説テーマ

良き時代の面影の残る飯坂の魅力と伝説を生かした作品にしたい。同時にロケ地としての福島市の魅力を全

体的にイメージした大人のファンタジーを目指している。カブーのビデオ作品で、時間は約40分。撮影は新潟県に発信し、地域活性化に映画製作9期生の高橋さん

も貢献したい」と抱負を語った。



テープカットで節目の年を祝う
佐藤知事(左から3人目)ら

節目の

福島空

隈井さんが代表を務めるアクターズ・リーグは現在、ヒロインやエキストラ、キャストなどを募集している。ヒロインにはいくつかの条件があるため事前の問い合わせが必要。応募があり次第、随時オーディションを実施する。最終締め切りは7月10日。問い合わせは隈井さん(電話番号70・5080・7770、メールkxc05854@nifty.com)へ。

観光客と住民の交流拠点

コミュニティカフェ

8日、飯坂温泉に誕生

福島市の飯坂温泉街の活性化を図る「いいざかさポータスクラブ」(藤原純理事長)が設置を進めてきた観光客と住民の情報交換拠点となるコミュニティカフェが8日、温泉街に誕生する。

カフェは同温泉街中心部の「いいざかさ」の隣り、空き店舗を活用。「まちのお茶の間」をコンセプトに、スローストを取り入れたメニューを用意、食事を楽しみながら観光客と住民がより気軽に交流できる情報交換拠点を

を目指す。メニューは地元産の果物を使った生ジュースや菓子、ケーキ、有機野菜などを使ったランチプレートなど。カフェでは観光情報を発信するほか、飯坂など福島市の農産物販売も。営業時間は午前10時から午後7時まで。

あすまで名称募集

いいざかさポータスクラブは、2日までにコミュニティカフェの名称を募集している。

多くの人が集い、にぎわいある交流拠点として、親しみやすく愛着が持てる名称が条件。採用者には飯坂産のモモ5キが賞品として贈られる。

採用者にはモモ5キ

同クラブの藤原純理事長は「飯坂温泉の情緒が感じられる温かみのある名前を」と呼び掛けている。応募は名称と住所、氏名、年齢、連絡先を記入の上、ファクス(024・529・6126)か電子メール(hall@izakafan.co.jp)で。問い合わせは同クラブ事務局(電話0990・1993)へ。



名称を募集するカフェ

温泉街で気軽に交流

飯坂にカフェオープン



温泉街にオープンした温カフェ

福島市の飯坂温泉街の活性化を図る「いいさかさポーターズクラブ」(藤原純理事長)が整備を進めてきたコミュニティカフェ「温(おん)カフェ」が8日、温泉街にオープンした。地元食材をふんだんに使った食事を提供し、観光客と住民が気軽に交流できる情報交換拠点を目指す。

カフェは同温泉街中心部の鱒湖湯近くの空き店舗を活用した。「まちのお茶の間」をコンセプトに、食事や飲み物の提供のほか、観光情報の発信や地元農産物の販売も行っている。「温カフェ」の名称は一般公募で寄せられた名前に理事会がアレンジを加え、決定した。

メニューは、地元の農産物や果物を使ったランチや生ジュース、菓子で、ブランド地産の伊達鶏と飯坂温泉特産のラジウム卵を使った「伊達なラジウム丼」(6

80円)や地元農家の季節の果物を使った「もぎたてスムージー」(480円)など。初日は、観光客や関係者が訪れ、スタッフとの交流を楽しみながら「飯坂の味」に舌鼓を打っていた。

営業時間は午前10時から午後6時まで。

問い合わせは同クラブ事務局(電話024・549・6125)へ。

自然の恵みを味わう 土湯温泉秘密探検ツアー

知られざる土湯の魅力を開発する「土湯温泉秘密探



飯坂温泉の十綱橋伝説

映画「TOZUNA」完成

24日に試写会



完成特別試写会のチラシ

から同温泉街でロケを進めてきた。約45分のカラー作品で、十綱橋にまつわる史実を基に

福島市の飯坂温泉のシンボル十綱橋にまつわる伝説を基にした映画「TOZUNA」が10日までに完成した。24日、同市飯坂町のパールセいざかで完成特別試写会を開く。

同作品は、同市を拠点に活動するアクトアズ・リーグが制作。アクトアズ・リーグ代表で県が制作した映画「春色のスープ」などに出演した俳優の隈井士門さん（福島市在住）が監督、脚本、主演を務め、昨年夏

しながら主人公が幻想の世界に迷い込むというストーリー。

試写会は映画制作に協力してきたNPO法人いざかサポーターズクラブの主催。上映時間は午後2時から同7時からで、チケット



トは500円。入場は18歳以上限定。問い合わせは同クラブ（電話024・529・6125）へ。

福島 宮城学院女子大OG「MG4」 来月11日コンサート

宮城学院女子大の卒業生代表は、2月11日午後2時から福島市音楽堂で「MG4」（浅野洋子

「TOZNA」上映

監督隠井さん「観光案内に利用を」

飯坂

福島市の飯坂温泉のシンボル・十綱橋にまつわる伝説を基にした映画「TOZNA」で、十綱橋にまつわる史実別試写会は24日、同市のパルセいざかで開催された。

同作品は、同市を拠点に活動するアクトアース・リーグが制作。アクトアース・リーグ代表の隠井士門さん（福島市在住）が監督、脚本、主演を務め、昨年夏か



上映を前にあいさつする隠井さん

次回は来月20日

想の世界に迷い込むというストーリー。

試写会は映画制作に協力してきたNPO法人いざかサポーターズクラブの主催。2回の上映で計約210人が来場した。上映前に隠井さんが「飯坂の良い表情が撮れたと思う。観光案内にも利用してほしい」とあいさつした。

観客は同温泉街の名所が数多く登場する映画に興味深く見入っていた。

上映会は2月20日にも同市の福島フォーラムで開かれる。R15指定。

20日に特別上映会

「TOZNA〜十綱ノ国〜」

飯坂温泉が舞台

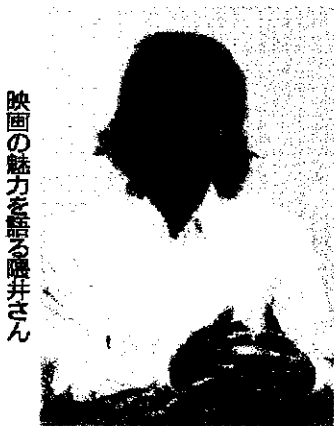
福島フォーラム

特定非営利活動法人いざかサポーターズクラブは20日、福島市の福島フォーラム3で、飯坂温泉を舞台にした映画「TOZNA〜十綱ノ国〜」の完成特別上映会を開催する。

俳優の隈井さん(福)が監督

「ふくしま元気市民活動助成金」E-LOVEいいざか元気フィルム活性化事業で、映画「春色のスープ」や「追憶のざわめき」など

「ふくしま元気市民活動助成金」E-LOVEいいざか(福島市)が監督、脚本、主演した作品。



映画の魅力を語る隈井さん

訪れたフリーライターが、十綱橋にまつわる盲人伊達一の伝説を知り、街の中を訪ね歩くうちに、その伝説に現れる白装束の少女を見かけるようになる。義経の家来の魂がさ迷うという赤川の伝説も織り交ぜ、飯坂温泉を舞台にした不思議な伝説の世界が描かれる。

上映は、午後7時30分からと同8時45分からの2回。同8時15分から、隈井さんのトークショーを開催する。上映時間は45分。チケットは前売り700円(当日900円)。R-15指定で、15歳未満は保護者の同伴が必要。問い合わせは、隈井さん(電話0880・33334・2080)か、いざかサポーターズクラブ(電話024・5329・6125)へ。



聴覚障害者を取り巻く現状に理解を深めた上映会

があった。今回が初めての本格的な上映会であり、多くの人に、この映画の魅力を伝えたい」と語った。

映画「ゆずり葉」

聴覚障害者を取り巻く現状を描いた映画「ゆずり葉」の福島上映会は14日、福島市の県文化センターで開か

RCの理念を学ぶ

福島で国際ロータリー

国際ロータリー第2530地区県北第2分区の新会議セミナーは14日、福島市



ロータリー精神を説く
紺野バスターガバナー

飯坂町の伊勢屋旅館で開かれ、会員らがロータリークラブ(RC)の理念などを学んだ。

同分区の7クラブから新会員と幹部ら合わせて約70人が参加。ホストクラブの佐藤昭裕川俣RC会長があいさつした。

研修では、紺野嘉昭同地区バスターガバナー(福島北RC)が「ロータリー所感」と題して講義。RC創設者ポール・ハリスの略伝やRC誕生までの経緯、ロータリアンとしての心構えなどを解説した。

引き続き、新世代会議が開かれ、福島北高の生徒やNPO法人飯坂サポーターズクラブの会員が将来の夢や奉仕活動を通して学んだことなどを発表した。



監督らが撮影秘話

福島で完成特別上映会

飯坂舞台の映画「十綱ノ国」



監督秘話を披露した。ユニークな路上パフォーマンスで知られる舞踏家の神沢さんは「夢の中に連れて去られたように、白装束を着せられ、福島弁も分からず、無我夢中の撮影だった。だまされたような気分だったが、振り返ればいい思い出」と語った。

NPO法人いざかサポーターズクラブは20日、福島市の福島フォーラムで、飯坂温泉の十綱橋にまつわる伝説を基にした映画「TENZANA十綱ノ国」の完成特別上映会を開催した。

「ふくしま元気市民活動助成金」I・O・V・Eいざか元気フィルムの活性化事業で、映画「春色のスープ」などに出演した俳優の隈井士門さん（福島市）が監督・脚本・主演した。

上映の合間に、隈井監督とヒロインの神沢敦子さんとのトークショーも開かれた。隈井さんは「ホラーのようにも見えるが、純然た

撮影秘話を披露した。ユニークな路上パフォーマンスで知られる舞踏家の神沢さんは「夢の中に連れて去られたように、白装束を着せられ、福島弁も分からず、無我夢中の撮影だった。だまされたような気分だったが、振り返ればいい思い出」と語った。

あらずじは飯坂温泉を訪れたフリーライターが、十綱橋にまつわる盲人伊達一の伝説を知り、街の中を訪ね歩くうちに、その伝説に現れる白装束の少女を見かけるようになった。難解の家来の魂が迷うという赤川の伝説も織り交ぜ、不思議な伝説の世界が描かれ

る。上映時間は45分。問い合わせは、いざかサポーターズクラブ（電話024・529・6125）へ。

着付けの成果を披露

福島・桜の聖母学院中
福島市の桜の聖母学院中
は20日、同校で総合学習の



1年間半んだ着付けの成果を発表した試験

時間「世界の中の日本」着付教室」を開き、3年生が

鮮やかな洋ランやバラ

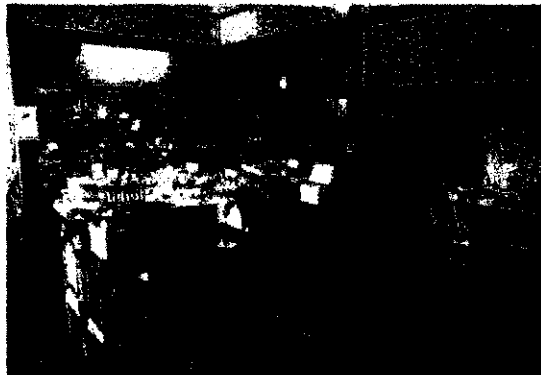
2日まで 中合福島店で祭典



「ふくしま洋ラン展&バラ&クリスマスローズの祭典」は25日、福島市の中合福島店1番館で始まり、気品ある香りを漂わせる色鮮やかな洋ランやバラが来場者を魅了している。3月2日まで。中合福島店やラン



地元産食材をふんだんに使った「温カフェ風スープカレー」④と「伊達なラジウム丼」。「もぎたてスムージー」⑤は、しゃりしゃりとした食感が涌上がりのほてった体に気持ちいい



落ち着いた雰囲気店内。レジ前のスペースでは、飯坂の名産品やお土産も扱っている

県内食べある記 味旅

おん 温カフェ (福島市)

福島市の飯坂温泉を代表する浴場、晴湖湯の道向かいに昨年8月オープンした。地元食材にこだわったメニューと、観光客と住民が集い、気軽に交流、情報交換のできる空間を提供している。

温泉街を盛り上げようと、地元の若手経営者らで立ち上げたNPO法人い

ざかサポーターズクラブ(藤原純理理事長)が運営。空き店舗を一部改装し、おしゃれなカフェとした。「まちのお茶の間」をコンセプトに食事や飲み物の提供のほか、観光情報の発信や地元産産物、飯坂銘菓の販売もしている。

どの定番メニューのほか、季節に応じたお薦めメニューも展開している。この時季、特にお薦めなのが新メニューの「温カフェ風スープカレー」。ほてい辛いスープに、グリルした伊達鶏、そのときと

観光客と住民が気軽に交流

メニューは、地元産産物、果物を使ったランチや生ジュース、菓子など約30種。ブランド地産の伊達鶏と同

が絶妙にマッチ。ラジウム王字を絡めながら食べれば、味の変化も楽しめる。入浴帰りに食べるべく、体もおなかもポカポカだ。

「お客さまとの交流を通じて飯坂の良さをPRしていければ」と藤原理事長。

使った「伊達なラジウム丼」、地元産の果物を使った「もぎたてスムージー」な

店を切り盛りするのは、地元に住み、飯坂を知り尽くした藤原純理理事長。

「お客さまとの交流を通じて飯坂の良さをPRしていければ」と藤原理事長。

おすすめメニュー

伊達なラジウム丼	680円
温カフェ風スープカレー	780円
もぎたてスムージー	480円
湯けむり銘菓セット	480円
こだわりブレンド	400円

▽場所=福島市飯坂町字湯沢26
電話024-542-3159
▽営業時間=前10時～後6時
▽定休日=水曜日

愛宕山から温泉を一望

【藤原純さんの観光ガイド】福島交通飯坂温泉駅から十綱橋を渡り、摺上川を上流に向かうと愛宕山があります。急な石段を登った頂上からは飯坂温泉が一望でき、観光客に人気です。5月ごろには頂上の愛宕神社の周りと結えられ



「温泉の後はカフェでゆっくり」

2009年7月31日(金) 福島民報(金曜版)



コミュニティカフェとして活用される店舗

飯坂温泉「カフェ」の名称募集

福島市飯坂町のサポーターズクラブは、飯坂温泉街に八月八日、オープンさせるコミュニティカフェの法人格の取得を既に申請中。藤フェ(ピストラン)の名称を八月二日まで募集している。

近頃は、空き店舗を活用して開設する。住民と観光客の交流を促進する。まちのお茶の間、が、書のお茶の間、年所、年齢、電話番号、プロ。地元産の果物を使ったジュース、スムージー、フレッシュジュース、豆乳、きなこ、きな粉、土産品、農産物の販売も計画している。地域情報の発信・案内も行う。同クラブは温泉街活性化や商店へ。

問い合わせは同クラブ事務局
電話090(1934)1913

メール ha
@hizakafan.com

街のお茶の間において

福島・飯坂温泉 住民らカフェ開設

公衆浴場前 空き店舗活用

福島市の飯坂温泉を活性化させようと、若い世代の地元住民を中心に活動する「いざかサポーターズクラブ」は毎日、温泉内の空き店舗を活用し、「コミュニティカフェ 温cafe」（オンカフェ）をオープンさせた。コンセプトは「まちのお茶の間」。住民、観光客を問わず、人が集い、くつろげる空間を目指している。



落ち着いた雰囲気、心と体も癒やされる「温cafe」

土産品や雑貨販売も

地元農家のレシビを応用したモモのスムージーや飯坂名物「ラジウム玉子」の丼など、地元産にこだわったオリジナルメニューを提供し、土産品や雑貨なども販売する。

観光パンフレットなどでは紹介されていない情報を発信する掲示板的な作製や、地元の専門家による歴史勉強会の開催も予定している。

クラブは飯坂に新たな風を吹き込もうと結成された。カフェに衣替えした空き店舗は飯坂の象徴とされる公衆浴場「鱒湖湯」の目の前にあることから、利活用が課題となっていた。

藤原純代表(39)は「飯坂をもっと楽しんでもらうための拠点にしたい」と張り切っている。営業時間は午前10時～午後6時。水曜定休。